

科目分類	看護専門科目 応用看護	開講時期	2年	後期		
科目名	地域看護学活動論 I					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	鈴木 隆史 ・ 畑野 相子					
メールアドレス	鈴木：t-suzuki@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	鈴木：講義日 畑野：講義日			

授業目的	地域看護で用いられる理論やモデルを理解し、一連の地域看護活動の展開方法を学ぶ。生涯にわたる発達課題、健康レベル別の課題、地域で生活する個人・家族および集団の健康を支援するための基礎的知識を習得する。
授業概要	ヒトの一生において、健康がどのように守られているのかについて法的根拠と地域看護活動の現状と課題について教授する。授業では、様々な地域看護活動の実践事例を教材として用いる。そして、臨床看護と地域看護の連携の必要性とあり方について思考する。
授業計画	<p>第1回 地域の特性と地域看護活動の展開</p> <p>第2回 ヒトの一生と地域看護活動</p> <p>第3回 地域看護活動で用いられる理論とモデル (1)</p> <p>第4回 地域看護活動で用いられる理論とモデル (2)</p> <p>第5回 予防の考え方と展開</p> <p>第6回 地域環境と人々の生活の捉え方 (プレゼンテーション)</p> <p>第7回 地域看護活動の理論と展開 (1) 家庭訪問 (1)</p> <p>第8回 地域看護活動の理論と展開 (2) 家庭訪問 (2)</p> <p>第9回 地域看護活動の理論と展開 (3) 個別健康教育</p> <p>第10回 地域看護活動の理論と展開 (4) 個から集団への展開</p> <p>第11回 地域看護活動の理論と展開 (5) 集団健康教育</p> <p>第12回 地域看護活動の理論と展開 (6) グループ支援</p> <p>第13回 地域看護活動の理論と展開 (7) 組織化・政策化</p> <p>第14回 人々の自己決定を支える支援について考える (1)</p> <p>第15回 人々の自己決定を支える支援について考える (2)</p> <p>まとめ</p> <p>担当者 第1回～第15回 鈴木隆史 畑野相子</p>
教材 参考文献等	<p>教科書</p> <p>(1) 最新 公衆衛生看護学 第3版 2022年版 総論 宮崎美砂子 ほか編集 日本看護協会出版会</p> <p>参考書</p> <p>(1) 国民衛生の動向 (2021/2022) 厚生労働統計協会</p> <p>(2) 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 編 メディックメディア (最新版を参照すること)</p>

<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>定期試験とレポート、グループ学習への参加態度等を勘案し、総合的に評価する。レポート課題は事前に伝達する。 レポート評価の視点は以下(1)～(4)のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 課題を的確にとらえて展開しているか (2) 論旨が一貫しているか (3) 自己の考え方を具体的に表現しているか (4) 参考文献を適切に用いているか
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>地域看護学概論を履修していること</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>本科目を修得していないと、地域看護学実習 I・II 及び地域看護管理実習は履修できません。</p>
<p style="text-align: center;">実務経験のある 教員の教育方法</p>	<p>保健師として、政令市等での地域看護活動の経験を活かして、地域で生活する人々の健康を護るための理論と活動方法について講義および演習を行う。</p>